

第 231 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 6 年 9 月 26 日（木） 14：30～16：06

場 所：浜田市役所本庁 4 階講堂 AB

出席者：岡田教育長 杉野本委員 岡山委員 倉本委員 浅津委員

事務局 草刈部長（欠席） 藤井課長 龍河担当課長 山口課長

永田担当課長 鳥居室長 松井課長 山本課長 濱見室長

書記：日ノ原係長 皆田主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

(1) 教育委員会自己点検・評価について（資料 1）

(2) 教育委員会委員と社会教育委員の意見交換について（資料 2）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

(1) その他

1 教育長報告

岡田教育長

皆さん、お疲れ様です。先週末に一雨あり、ようやく少し秋めいてきたと感じている。

2 学期は学校でもいろいろな行事が予定されており、特に今、運動会や体育祭の真最中だが、今年から暑さ対策に配慮して日程を後ろにずらすという様な配慮をして計画はされてきたが、残暑が本当に厳しく、なかなか熱中症の絶えない状況の中で、実行されていると思う。また、今週と来週の週末にも多くの小学校で運動会が予定されており、涼しくなってきたとはいえ、今運動会の当日の気温だけではなく、その運動会に臨むまでの練習の間が暑くて、それで子どもたちが疲れ切ってしまう様な状況もある様で、そうしたことも踏まえて、来年度のこの暑さ対策、日程などについては、改めて検討が必要なのではないかと感じたところである。

それでは資料に沿って、先月の定例会以降の活動について報告をさせていただきたいと思う。

① 8 月 30 日（金）9 月議会開会（提案説明）・全員協議会

8 月 30 日に 9 月議会が開会した。一般質問では、小中学校の

特別教室や体育館へのエアコンの導入、学校の営繕要望への対応の他、学校規模の適正化や不登校児童生徒への対応などについて質問があり、改めて、小中学校の教育環境の確保に努めなければならないという気持ちを強く持った。

また、教育委員会関係の補正予算についてだが、国民スポーツ大会の競技会場となる施設整備について、基本計画を策定する必要がある、業務委託料として 7,979 千円を計上しており、これは後程、詳細について担当課長から説明させていただく。

それと今議会で、今年度と令和 2 年度の小学校の教師用の教科書、指導書の購入契約において、本来 2,000 万円を超える契約であれば、事前に議会の議決が必要だが、この議会の認定を受けていなかったということが判明して、追認議案を提出するということになった。会計処理の本当に不適切な事務処理であったということ反省をし、今後適正な事務に努めていきたいと考えている。

また、杉野本教育委員の 1 期目の任期が 11 月 18 日に満了するということで、その直前の議会であるため、今議会で継続の同意案件を提案している。

② 9 月 18 日（水）校長会教育条件要望（教育委員室）

続いて、9 月 18 日に校長会から教育条件の要望を受けた。具体的な重点要望が 3 点あり、1 点がやはり特別教室への早急なエアコンの設置についてである。それからもう 1 点が、部活動の地域移行に向けた組織の創設と財源の確保である。そしてもう 1 点が、学校給食についての諸課題の解決をお願いしたいということで、具体的に言うと、学校給食の早期の公会計化、アレルギー対応のハンドブックの作成という様なことになっている。出来るところから対応していきたいと思う。

③ 9 月 18 日（水）子どもの権利条例の実現に関する市長陳情

それから、同じく 9 月 18 日に、議会と市民団体から、子どもの権利条例の実現に関する市長陳情があった。市長は、まずは職員の意識啓発などの機運醸成に取り組みたいということを回答された。

条例制定をどうするかというのは、今後の大きな課題ではあるが、教育委員会としては、これまでも共通理解を図りながら、子ども基本法の趣旨や、あるいは子どもの権利を意識した学校運営等と一緒に取り組んでいこうということでやってきている

各委員

ため、こうした姿勢は継続していきたいと考えている。

以上、少し補足の必要なところを説明したが、教育長報告について、ご質問等あればお伺いしたいと思う。

特になし。

2 議題

(1) 教育委員会自己点検・評価について（資料 1）

日ノ原係長

こちらの報告書案を送付させていただいているが、本日は令和 5 年度の取組について評価をお願いしたいと思う。流れとしては、お手元にある報告書について、本日、委員方からご質問やご意見をいただき、いただいたご意見を受け、また各課において修正した報告書を、後日再度、委員方に送付させていただきたいと考えている。送付した報告書を最終的にご確認いただいて、ご了承いただければ、その後、議会に報告する予定としている。

今回報告書の内容としては、令和 3 年度末に策定している教育振興計画の計画期間の 2 年目になっている。事前にお目通しをさせていただいているが、今回グループごとに区切って審議をいただき、最後に総評をとということで進めさせていただければと思う。

よろしくお願いします。

岡田教育長

それでは、自己点検評価報告書が手元にあるか。総評は最後に確認するというので、1 つ 1 つの項目について、ご意見を頂戴したいと思う。

8 ページをご覧いただきたい。ここからは、学校教育の充実に関することで、生きる力の育成というところから始まっていく。それで 1 つ 1 つといっても 50 番まであるため、ちょっとグループを作つてということで、最初にこの 8 ページから 21 ページまでのところで、ご意見を頂戴したいと思っている。

何かお気づきの点などがあればお願いします。

1 つ私からいいか。10 ページの、幼児教育センターの設置のところで少し確認しておきたいことがあるが、教育委員会の評価の最後のところ、「各幼児教育施設と小学校教育の円滑な接続に向けて引き続き市が主導していく必要がある。」とあるが、ここはこの様な表現でよかったか、少し気にはなっていた。この辺りはどうか。事務局でなくても、教育委員方の考えも聞かせていただければと思う。

意味合い的なものを少し説明をお願いします。

龍河担当課長	幼保接続については、令和４年度から３年計画で、今年度３年目の合同研修の実施をした。幼児教育施設の職員と小学校の先生方に一堂に会していただき研修を行うことで、幼小連携に係る意欲を高めるということと、子どもの立場に立って、接続期の子どもについて考え、一緒に考える時間を持つ目的でさせていただいた。今年度が、３年計画の３年目ということだったが、これは令和５年度の実績のため、その連携をどの様に今後接続していったらいいかということも具体的にどう動いていいかわからないところがあつたため、今年度はさらにそこを進めていき、管理職研修と職員研修を行って、今全部の学校を回らせていただき、校長先生に、その後の様子や、今後の取組についてお話を伺う時間も設けさせていただいている。そういったきっかけ作りを、市と幼児教育センターが一緒になって、市がそのあたりのきっかけ作りをしていく、主導していく必要があるという意味合いで、ここは書かせていただいた。
岡田教育長	そういったことの様だが、幼児教育施設と小学校はそれぞれ管理者も違い、そこが連携を取るためにどこか働きかけるという意味合いだろうが、正直なところ、主導というのは少しどうなのかという気はするため、もし、他にその思いを表現できる適当な言葉があるのであれば、考えていただければと思う。
龍河担当課長 岡田教育長 杉野本委員	承知した。 他に何かあるか。 ９ページの５年度の実績の１番のところで、「アドバイザー２名配置して、アドバイザーを派遣して、講演会や演習会等を行った」とあるが、他の所は回数等が記載してあるが、これはどのくらいやったのかというのが知れるといいと思う。これは、希望を取って行ったのか。今後これが続いていく中で、どのくらい増えていくのか、あるいはなかなかその辺の希望が出てこないのか確認していく意味で、５年度にどのくらいあつたのか、実績として残した方がいい気がした。
岡田教育長 龍河担当課長	今、追記をして欲しいということだが、いかがか。 ここでは、大きな目標として幼児教育の充実というところの取組について書かせていただいているが、次の１０ページのところで、幼児教育センターの設置という具体的な取組の中で、５年度実績のところに、研修をした人数を挙げている。 今、おっしゃった様に希望調査をした上で、５年度は２９園中２２

	施設に訪問を実施したが、その数字等がここに記載してないところもあるため、もう少し幼児教育センターの実績がわかる様な数字を追加させていただきたいと思う。
岡田教育長	願います。
杉野本委員	この 10 ページは、7 月 26 日に 29 施設から集まって、一斉に行われたという研修か。
龍河担当課長	10 ページの 5 年度の実績のところか。
杉野本委員	そうである。
龍河担当課長	ここは、管理職研修、職員研修をそれぞれ 1 ヶ所に集まり、2 日に分けて行った。それとはまた別に、幼児教育施設が 29 施設あるが、そこに訪問希望の調査をし、希望のあった 22 施設に幼児教育センターから訪問をして保育参観をしたり、いろいろな研修をしたりということを行っているため、ここにその数字が挙がっていないため、そこは追加をさせていただきたいと思う。
杉野本委員	これが 9 ページのところか。
龍河担当課長	そうである。数がここに挙がっていない 1 番のところへ追加する。
	22 施設に 57 件の訪問をし、233 名が研修に参加していただいているため、そこは追加をさせていただく。
杉野本委員	29 施設のうちの 22 施設を訪問できたということで、1 年目から頑張られている。
岡田教育長	その他あるか。
浅津委員	16 ページだが、5 年度の目標のところで、部活動の地域移行の一環として、「合同活動の取組を推進する」とあるが、この推進するというのは先ほど市が主導するという表現があったが、私はこの推進というのはどれぐらいの意味なのかというのが少し気になった。これはむしろ、市が主導するぐらいの強さなのか、推進という言葉がわかりにくかった。
山口課長	部活動は、各学校で取り組んでいるが、今回の部活動の地域移行に関しては、教育委員会主導である。ただ、実施の検討にあたっては、校長会や中学校体育連盟、そういったところで協議しながら進めるが、部活動の地域移行の実施主体は、教育委員会という意味合いで、これは主語を書いていないが、教育委員会が推進するという意味合いでご理解いただきたい。
浅津委員	承知した。
岡田教育長	その他いかがか。

杉野本委員	12 ページの、学力育成総合対策事業の評価のところだが、「公開授業に各教員が年 1 回は参加する」という様な指定校の取組があるが、指定校の協調学習や算数等、いろいろあると思うが、どの指定の公開授業への参加が多かったか、教えていただきたい。
鳥居室長	市の教育研究会の、例えば、算数数学の授業を公開すれば算数数学部会の研修を兼ねるということで、タグを組んでさせていただいている。それは、先生方が専門性を生かされる様にとということと、市教研の研究部会では、市の研究会の出張という様な感じもできる。その研究会の研究活動にもなるということで、いろいろな組合いを含めてタグを組んでさせていただいている。 算数については、少し多かった様に思う。我々の宣伝効果もあったと思う。協調学習に長年取り組んでいる分、これについては、少し参加者が少ない傾向にある。ICT については、各学校から大体 1 名ぐらい出席されているが、今年度の話をする、育成学力推進プランに取り上げたことが、年々ものすごく ICT で報告されている。そのような状況である。
杉野本委員	承知した。先生方がどういうところを求めておられるか知りたかった。
鳥居室長	一部の研究主任からは、指定校ではない、市の研究会の研究授業もあるが、そちらに参加したことで参加させてもらったことにさせてもらえないかと問い合わせがあった。というのは、例えば家庭科は、割と指定校の授業から外れる部分で、各学校そんなに先生方の数がないところは、そういう研修があるとそちらに参加したい。縛りがあると、市教研のところに行きづらくなるという声もちらほら聞こえてくる。また、今後考えていきたいと思う。
杉野本委員	市教研の出張もあり、また、市教研の出張とも重ならず、市教研の部会とタグを組まれているような、効率的に出張数も増えないといいと思った。
岡田教育長	その他はよろしいか。
杉野本委員	13 ページのところだが、5 年度の実績の 2 段落目のところで、また子どもたちの力で事業目的を達成できたというきっかけだと思う。ここは、「できたことをきっかけに」、がいいと思う。
岡田教育長	今のところ、言葉の修正をお願いします。
鳥居室長	承知した。
杉野本委員	15 ページのところで、教育委員会の評価の中に、上から 4 行目、1 時間以上の家庭学習をする子どもの割合が 50%前後であること

	が課題ということだが、塾に通っている時間というのはこれに含まれるのか。
鳥居室長	含まれている。授業時間以外の学習ということで出ているため、ここでは簡単に家庭学習という言い方をしている。
杉野本委員	小学校より中学校の生徒が勉強していなくて、塾に行ったのを入れても少ない。
	承知した。
岡田教育長	私から 1 点、加筆があった方がいいと思うが、17 ページの働き方改革として評価のところに、今「すぐえる」の活用が随分学校の方で評価されていると思う。メールの配信システムが新しくなったことで、これは働き方改革にかなり喜ばれていると思うため、何かのかたちで加筆をお願いします。
山口課長	承知した。
岡田教育長	では、このグループの質問がない様であれば、次に行きたいと思うが、よろしいか。
各委員	特になし。
岡田教育長	22 ページを開いていただきたい。
	大きな政策の柱が、あと半分残っているため、この 34 ページまでのところで、気づいた点があればお願いしたいと思う。
岡山委員	30 ページの 1 番下のところに、「より一層食育授業や家庭への啓発等を通じた取組を推進すべきである」と書いてあるが、すべきであるというとは何か他人事になると思う。他と見比べると、ここは必要であるという書き方になっているが、ここだけが推進すべきであるという書き方になっているため、揃えられるのであれば、「推進が必要である」等に揃えられた方がいいと思った。
日ノ原係長	しなければならない様な強い意味合いの時に、「すべきである」を活用する様に素案として作らせてもらっているため、必要であるよりも、これについてはもっと強い表現をしたいというのが事務局としてはどうかというところで、この様にさせてもらったところではある。
岡田教育長	ただ、今指摘があった様に、確かに他人事の様な感じがする。強い意味合いを出すのであれば、強力的に推進する必要があるや力を入れて推進するという様な表現はどうか。
日ノ原係長	あと、使っている言葉としては、しなければならないという表現がある。
岡田教育長	はい。

浅津委員

その他いかがか。

27 ページの 5 年度の目標に 60 回とあり、実績のところに回数で書いてあるが、この回数だけだと、回数にこだわった様に見えてしまうのではないかと思う。例えば、中で、人権全般であったり、同和問題であったり、ジャンルを少し分けれるのであれば、こういったジャンルのことを何回行ったというのが入ってもいいのではないかと思う。

ちなみに 54 ページのところで、こちらもちづくりセンターにおける人権同和の評価があるが、こちらは実績のところで、同和問題に関して 6 回、人権全般 42 回と回数が分けてあるため、こちらでも何か少し内容がわかるようにした方が、それをより来年はこの分野を少しやってみようとかそういうふうにも見えるのではないかと思った。

岡田教育長
濱見室長

今のところいかがか。

人権課題のうち、特に同和問題については 54 ページに回数を書いている。27 ページの方は学校教職員向けで、1 番のところで、うち 1 回は運動団体講師による研修を実施したとしており、これは同和問題のことだが、1 回以上は行っているということで書いている。その他といえはたくさんあるが、最近力を入れているのは、LGBT とインターネットの 2 つである。他にもまだいろいろあり、高齢者、障がい者、外国人等いろいろあるが、全部書いていくと結構大変だとは思ってはいるが、集計はしているため可能かと思う。

2 番の地域ぐるみは、小学校 1 回、中学校 8 回、これもテーマは大体わかるため、その内訳を書くことは可能である。

浅津委員

ジャンル分けが適切ではないとしたら、そういった書き方もよくないと思う。

濱見室長

逆に過去には、同和問題だけ回数を書くのはどうかということ言われたことも実はあった。ただ私たちは、同和問題はすべての人権関係の規定に据えているというところがあるため、同和問題だけは、回数を出す様にはしていた。その他、様々なものの回数を全部書いていくところがどうかということで、今のところは省いているが、書くことは可能である。

岡田教育長

それは、ある程度、特にこういったところに力を入れて取り組んだということは、回数を全て書かなくても、主だったところを少し列挙すればいいのではないかと思うが、内容がやはりわかっ

	た方がいいのではないか。
濱見室長	特に、今の傾向としては、LGBT とインターネットのところはすごく力を入れており、回数も多く実施しているため、そこだけは特に抜き出せるように加筆修正したいと思う。
岡田教育長	それではその様に、特に学校の方が何に力を入れてやっているかということもあるため、少し加筆をして修正をお願いします。
濱見室長	承知した。
岡田教育長	その他いかがか。
各委員	特になし。
岡田教育長	では、もし言いそびれたということがあれば、後でまたお伺いしたいと思う。
	35 ページから、施策の柱の 2 番目の項目が始まるため、ここから 43 ページまでのところ、家庭教育支援の推進の大きな柱の中で、いろいろお気づきの点があれば、お願いしたいと思う。
杉野本委員	37 ページのところで、少し教えてもらいたい、5 年度の実績の中で、2 番目の地域学習支援事業（勉強の場所づくり）とあり、4 教室実施とあるが、これはどこでされたのかということと、それから、1 番下の地域の人材を活用した学習支援を実施したとあるが、具体的にどの様な人がされたのか教えてもらえればと思う。
永田担当課長	この 4 教室だが、まちづくりセンターでいうと、長浜、安城、杵束、三隅である。
	人材は、地域におられる方で、例えば三隅でいうと、リハビリテーションカレッジの生徒さんに来ていただいた。特色あるというところである。あとは、地域におられる方に指導に入っていた。
杉野本委員	高齢の方か。
永田担当課長	若い方もおられるが、高齢の方もおられた。
杉野本委員	ありがとうございました。
岡田教育長	その他いかがか。
各委員	特になし。
岡田教育長	では、次に進みたいと思う。
	44 ページから、施策の柱の大きな 3 番、社会教育の推進になる。この 44 ページから 60 ページまでが、その柱になっているため、この社会教育の推進の中で、いろいろとご意見があればお願いしたいと思う。
日ノ原係長	すみません、事務局から、申し訳ないが修正を 1 点お願いした

	いと思う。44 ページ、No.22 の 5 年度の実績の 1 番だが、教育委員会主催で 8 つの中学校と書いているが、8 を 9 に訂正をよろしく願います。私の確認不足で申し訳なかった。
岡田教育長	その他よろしいか。
各委員	特になし。
岡田教育長	それでは続いて、61 ページになる。これは、施策の柱の大きな 4 番、生涯スポーツの振興ということで、61 ページから 64 ページまでのところで何かあれば願います。
岡山委員	61 ページの教育委員会の評価の 1 番下だが、「人口減少が加速している中での参加者確保が困難となっていることが懸念される」とあるが、そもそもの日本語がおかしいと思う。懸念されるより、これからの課題であるというふうに直された方がいいのではないかと思った。
岡田教育長	いかがか。
松井課長	ご指摘の通り、やはり日本語がおかしいというところと、課題という方がしっくりくるため、その様に修正させていただきたいと思う。
岡田教育長	その他いかがか。
各委員	特になし。
岡田教育長	では、次に 65 ページから、施策のナンバー 5 が始まるため、歴史・文化の伝承と創造のところ、個別表の最後 84 ページまでのところで、何かあれば願います。
浅津委員	72 ページの 1 番下の教育委員会の評価のところで、真ん中のあたりに、「引き続き出品数確保に向けた取組が必要である」とあるが、出品数の確保というのは、必要なのかなというか、難しいのではないかと思った。その前のところに「工夫しながら取り組んでいる」とあるが、そういう言葉にとどめた方がいいのではないかと思った。出品数確保というのは、質も下がるかもしれないし、現場も苦しいと思った。例えば、規模を見直す、やり方の変更等、そういったやり方もあるのではないかと思う。出品数確保が必要なのかどうか、それに取り組むのかどうか。
岡田教育長	いかがか。
山本課長	今、まさに土曜日から、市美展が始まるが、出品数が実際のところは、令和 5 年度は一般公募について 158 点だったが、今年度は各部門で、特に写真の部門で、市美展に出すことを前提に、そういう写真の引き伸ばしの教室等の取組をやられて、今年度は 180

	点、22 点増えている。そういった意味で、確保というと現状維持みたいになり、増加に向けた取組はやはり PR の仕方もあったりすると思うが、そういったことも含めて今、実行委員会の中でも、委員方でどうやったら増えるかということも考えつつやっている。事務局としては、どちらがいいかというところはあるが、確保、増加に向けたという部分は残しておきたいという思いはある。
岡田教育長	事務局がそういう強い思いを持っている。
山本課長	浅津委員から心配していただいたが、そういうことである。 やはり減ると困るため、なるべく出していただく様な取組を実行委員会の中でもお話をさせてもらっている。
岡田教育長 各委員	その他いかがか。 特になし。
岡田教育長	では、続いて 85 ページからの振興計画の目標達成度について、令和 5 年度の数値が載っているが、この件について何かご意見があればお願いします。 全体を通して、令和 4 年度に比べて、数値的にはどうであるか。でこぼこは多少あるとは思いますが、数値的なものは比較的伸びている様に思う。
日ノ原係長	そうである。全般的にやはり、コロナの影響が少なくなってきたところで、人数的なところが令和 4 年度に比べて増えている。
岡田教育長	また、このデータなども見ながら総括していくと思うが、これは数字をずっと追っていくということでご理解いただければと思う。 それでは最初に戻り、4 ページを 1 つずつ見ていきたいと思う。 まず、学校教育の充実についての総括についてご意見あればお願いします。
日ノ原係長 鳥居室長	先ほどの、「すぐーる」の活用については少し加筆をお願いします。 承知した。 学校教育の 2 段落目の 3 行目、ICT 機器等も活用しながら個別最適化された、のところの「化」を取っていただけたらと思う。最適化されたというと、教員が最適化したという感じになるが、個別最適な学びをするのは子どもであるため、「個別最適な指導」ということをお願いします。
岡田教育長 各委員	その他はよろしいか。 特になし。

岡田教育長	では続いて、家庭教育支援の推進の項目で、ご意見をいただきたいと思う。
永田担当課長	4 ページのところで、この取組の一つである浜田親子共育プログラムとあるが、応援が抜けていた。共育の後に応援を入れていただきたい。
岡田教育長	その他はよろしいか。
各委員	特になし。
岡田教育長	では、次に社会教育の推進についての項目でお願いします。
各委員	特になし。
岡田教育長	ない様であれば、次に生涯スポーツの振興について、ご意見をお願いしたいと思う。
岡山委員	一番最後の部分、スポーツの振興において「新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなっている」で終わっているが、例えば、「各種スポーツ教室を実施することができた」で1行切られて、要するに、「新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなっている」ので、これからさらに邁進、推進していくことができる」といった書き方がわかり良いのかなと思う。なんか少なくなっているからどうなんだろうというふうに終わってしまっている気がするため、何か今後もうちょっと、影響が少なくなっているからコロナ前と同様にできるみたいなかたちのものが入るといいかなというふうに思う。
岡田教育長	いかがか。
松井課長	ご指摘の通りだと思う。 各種スポーツ教室を実施することができた、で1回切らせていただき、最後のところで、おっしゃるように新型コロナの影響が少なくなっているため、さらなるスポーツ振興をというような、そういったかたちでまとめさせていただきたいと思うがよろしいか。また、これはちょっとこちらで修正をさせていただきたい。
岡田教育長	では、少し修正をするということであるため、よろしく願います。 その他はよろしいか。 では最後に、歴史・文化の伝承と創造についての項目をお願いします。 文化財指定のことが少し入ると良い。蛇胴は去年、5年度だったか。
山本課長	5年度である。

岡田教育長	結局、重要なものは指定してでも残すという姿勢のもとに、蛇胴の製作技術が指定できたため、ちょっとそういう姿勢を少し加筆してはどうか。
日ノ原係長	文化財行政についての最後のところの中に蛇胴を加筆するか。
岡田教育長	ここに、保存し伝承していくための取組で、重要なものについての文化財指定もすることができるというような項目を出してもいいのではないかな。
	では、その他全体を通じていかがか。今のようなことを改めて、少し修正、加筆をさせていただき、この後はどのようにしていくか。
日ノ原係長	今日ご指摘いただいたものを事務局の方で修正をさせていただき、また後日、委員方に送らせていただこうと思う。
	それをご確認いただき、個別でここどうなんだろうとか、これで OK ですとか、そういったところを個別に委員方からいただいた上で、完成させていただければと思っているため、よろしくお願いします。
岡田教育長	そういうことであるため、加筆修正したものを改めて委員方に送らせていただき、そこで意見を求めて、修正がなければそれで教育委員会としては承認するとお答えさせていただければと思っている。
杉野本委員	聞き忘れたことがある。21 ページの実績、1 の (6) であるが、原井小学校保健室空調の後の言葉は設備が正しいか。
藤井課長	設備が正しい。空調設備更新工事である。
日ノ原係長	確認したつもりであったが、すみません。ありがとうございます。
岡田教育長	それでは、チェックのときにもう 1 回改めて皆さん見ていただきたい。
	では、議題 1 を終了して次に移りたいと思う。

(2) 教育委員会委員と社会教育委員の意見交換について (資料 2)

永田担当課長	資料 2 をご覧いただきたい。教育委員方と社会教育委員方の意見交換についてだが、こちらについては、例年 3 月に実施させていただいているが、今年度については、昨年度の意見交換の際に、コミュニティスクールについて意見交換をとということもあったため、今回、少し早い時期ではあるが実施をさせていただくものである。目的としては、今年度の取組、社会教育の推進等について、
--------	--

	委員方で意見交換をするものである。実施の希望日は、令和 6 年 11 月 11 日の月曜日 15 時から、場所はこちらの市役所本庁舎 4 階講堂を会場としてお願いしたいと思う。 意見交換会のテーマについては、先ほど申し上げた浜田市のコミュニティスクールについてということテーマにしたいと思う。委員方には、事前に少し時間が経っているが、7 月 26 日に、コミュニティスクール研修会ということで、コミュニティスクールについていろいろと研修を受けていただいたが、そういったところを踏まえながら、今回意見交換させていただき、来年度設置予定の浜田市のコミュニティスクールがよりよいものになる様に意見交換できればと考えているため、よろしくお願いします。 説明については、以上である。
岡田教育長	ただいま、教育委員会委員と社会教育委員の意見交換の日時を 11 月 11 日の 15 時から行いたいということと、内容については、浜田市のコミュニティスクールについてということで意見交換をしたいという提案があったが、委員方いかがか。
各委員	承知した。
岡田教育長	参考までに、おそらく 11 日に細かな説明があると思うが、今の取組状況についてざっくりでいいので、少し話してもらえるか。
永田担当課長	今の取組状況については、校長会等を通じて、学校の校長先生方、教頭先生方に研修会や説明会等は既に行っている。 各地域や学校単位で、派遣の佐々木先生、山本先生が出向き、それぞれの会で説明会をしており、確か全て終わっている状況であったと思う。
岡田教育長	この間、佐々木先生が 2 回目に入るといようなことも少し言っておられた。ひと通りは 1 巡の説明が終わり、概ねこのコミュニティスクールを始めるといことについての理解は得られているのではないかと思う。
永田担当課長	そうである。あと、エリアについて、中学校区にするのかそれとも小学校区にするのかということも既に決められている。 弥栄は、確か中学校区で行う。三隅も当初、中学校区という話があったが、やはり、それぞれの小学校単位がいいであろうということになった。ただ、やはり中学校は 1 つのため、連携をとりながらやっていこうという様な確認はそれぞれでされている。
岡田教育長	概ね前年度の準備としては順調に進んでいる様な印象を持ったが、また改めて 11 日に、両方の委員方に説明をきちんとしてもら

永田担当課長 岡田教育長 日ノ原係長	い、そこから意見交換する様にさせていただきたい。 その様に考えている。 できれば、その資料は少し早めをお願いします。 10月28日の定例会が終わった後のところで、少し教育委員方に事前の説明をさせていただこうと事務局で段取りを進めている。
岡田教育長 杉野本委員	よろしくをお願いします。 各地域、学校単位での説明会が行われたのか。学校に対しての説明か。
永田担当課長 杉野本委員	学校もだが、地域のまちづくりセンター職員にも説明をした。 その他のいろいろな自治体関係はどうか。
永田担当課長 杉野本委員	まだそこまではいっていない。 推進委員会はどうか。
永田担当課長 杉野本委員	まだこれからである。 承知した。
岡田教育長 各委員	その他はよろしいか。 特になし。

3 部長・課長等報告事項

藤井課長	令和6年度 一般会計補正予算（第3号）説明資料（資料3） 資料3をご覧ください、令和6年9月浜田市議会定例会議の一般会計補正予算（第3号）の資料になる。 今回の補正予算については、今年度10月より児童手当制度において所得制限の撤廃、高校生までの支給延長、第三子以降の増額等の制度拡充に伴う事業費の調整と、6月補正予算編成以降に生じた経費について追加等を行うものである。増額は、1,779,187千円となる。 この度の補正予算で、教育費関係については、ページ1枚めくっていただき、債務負担行為補正を1件追加で提出している。4の債務負担行為補正の1番下、島根県国民スポーツ大会競技会場整備基本計画策定経費で、期間は令和7年度まで、限度額は7,979千円となる。補正内容については、担当の松井課長より説明させていただく。
松井課長	それでは、この度の債務負担補正の内容について説明させていただく。次のページに新規事業説明シートがついているため、これを参考に説明をさせていただく。 国スポに向けての進捗状況については、前回の定例会で説明

させていただいたため、省略させていただく。この事業の目的だが、国スポの会場を、今年度中に中央競技団体により正規視察をしていただき、こういった整備が必要かという様な指摘や要望を受けることになっている。それを受けて、こういった改修をするかというところを、個別ではなく、施設全体の計画を専門業者に考えていただくというものになっている。詳しくは、こちらの④の内容のところに書いてあり、国スポ競技会場となる市の所有施設 5 施設における整備の基本計画を策定するというので、改修を想定する施設は、軟式野球とサッカーのこちらに記載の 5 施設になる。

これ以外の競技については、市の施設ではなく県有の施設や民間の施設を使うため、この軟式野球とサッカーのみとなっている。事業費だが、委託料が 7,979 千円となっている。委託業務の概要が記載されているが、業者の選定は、プロポーザルの審査を行う予定となっている。委託の期間は、令和 7 年 1 月から 8 月ということで、8 ヶ月程度を想定している。

委託の内容については、ここに 5 項目挙げているが、現状の把握や敷地の分析、それから計画内容の検討及び設定、それから基本計画図の作成と、概算事業費の算出というところで、全体の整備計画を作って、これを基に計画的に整備を行いたいというような内容になっている。

⑤のその他のところには、今後のスケジュールを記載しているが、今年度から令和 7 年度にかけてこの基本計画を策定し、令和 8 年度から令和 10 年度にかけて改修工事を行い、令和 11 年度にはプレ大会が行われ、令和 12 年度には本大会を迎える様なスケジュールを想定している。ということで、この計画策定にかかる予算ということで 7,979 千円を要求させていただいた。

説明は、以上である。

岡田教育長

ただいまの説明に関して、ご質問等あれば伺いたいと思う。

少し補足すると、今回債務負担行為ということでこの予算を計上しているが、行政はやはり予算決算というのは、年度主義で、ここにある様に、来年 1 月からスタートしたとして、それが全部終わるのが令和 7 年度中ということになり、令和 6 年度の決算にならない。従って、来年度まで跨るが、今手をつけるために予算枠を確保しておかないといけないということがあ

各委員

るため、今年度、こういう事業を行うということで予算を挙げている。支払いは、おそらく今年度は発生せず、来年度完了後に支払うということで、債務負担というのはそういう意味で、約束として来年度枠をとるということで、この 7,979 千円を要求したということになっている。

よろしいか。

特になし。

藤井課長

個人一般質問 通告一覧（令和6年9月浜田市議会定例会議）（資料4-1）

引き続き、資料 4-1 をご覧いただきたい。個人一般質問通告一覧である。先ほどの教育長報告にもあったが、9 月議会定例会が 8 月 30 日に開会した。現在も開会期間中であり、9 月 30 日が議会最終日となる。

一般質問は、9 月 2 日から 9 月 5 日までであり、今議会では個人一般質問は全体で 18 名の議員から 204 項目あり、そのうち教育関係の質問は 11 名から 47 項目あった。

教育総務課関係が 12 項目、学校教育課関係が 23 項目、スポーツ振興課関係が 5 項目、文化振興課関係が 7 項目あった。

令和 6 年 9 月定例会議答弁準備原稿 個人一般質問用（資料 4-2）

資料 4-2 をご覧いただきたい。教育委員会関係の質問・答弁について簡単に説明させていただく。

まず、岡本議員から浜田郷土資料館の建替について質問があった。最初の質問、建替え後の浜田郷土資料館での他分野の資料等の展示については、企画展示や建替えを複合化した場合、その施設の関連分野の展示等に対応出来ること、2 つ目の質問の集客力向上の施策については、魅力ある展示や体験学習、ホームページやインスタ等の SNS を活用した PR を行い、集客に努めていく旨を説明させていただいた。

次の西田議員からは、スポーツ振興関連で 2 項目質問があった。最初に、石見地域全体で、浜田市が音頭を取り、スポーツ施設の在り方を広域的に協議・整備してはどうかとの提案があった。それに対しては、各自治体様々な考え方があり、広域整備は難しいところだが、現在、国スポに向け県内市町村と協議

する機会が増えているため、その機会に各市町村の意見を聞いてみたい、と回答している。

次に、三浦龍司選手への支援について提案があった。三浦選手におかれては、これまでも帰省時に地元の陸上競技会や陸上教室に参加され、子ども達に陸上の魅力を伝えていただいている。今後も、市としては、大会時のパブリックビューイングや懸垂幕掲揚などを通じ、地元の応援する声援を三浦選手に届けることで支援していきたいと回答している。

次の小川議員は2項目、オーガニック給食の推進と給食無償化について質問があった。

給食での有機米 100%使用については、有機米自体の流通量が少ないこと、価格が一般米より高価であること等の課題があり、当面 100%有機米使用は困難と考えているという回答をしている。また、給食無償化についても、毎年高額な財源が必要なことから、国において全国一律での制度とするべきとの見解を示したところである。

次の肥後議員からは、7項目に渡り小中学校特別教室・体育館へのエアコン導入について質疑があった。特別教室へのエアコン設置については、教育委員会としても早急に必要と考えており、今年度から3か年で各校の音楽室へのエアコン設置を予算化したところだが、この度、特別教室と体育館への設置提案があり、まずは、音楽室以外の特別教室へのエアコン設置から進めて参りたいと回答した。

次の川上議員からは、老朽化が進む市内の各小中学校について、子ども達に快適な学習環境を確保するための修繕、営繕の重要性について質疑があった。教育委員会としても、学校環境整備のための人員や予算の確保に努め、子ども達に快適な学習環境を提供したいと考えているという答弁をしたところである。また、併せて今後の学校施設の更新計画についても質問があり、市内の大半の学校施設の老朽化が著しいこと、少子化が予想以上に急速に進んでいること等から、統廃合も視野にいれた小中学校の適正配置を検討する必要があると答弁したところである。

次の佐々木議員は、学校図書館及び市立図書館について質問され、図書購入のための予算額や購入先を回答したところである。また、浜田市の図書館図書購入額は県内でも高水準である

ことをお伝えし、出来る限り地元書店から購入すべきとのご意見に対しては、現在、購入図書へのラベル貼りやタグ付け、フィルムコーティングといった作業に、地元書店の対応が難しいことにより、半数強を県外の図書流通センターを通じ購入しているという実情を説明させていただいた。

次の芦谷議員からは、令和 12 年の国スポ開催に向けた市の取り組み状況やスケジュール等が質問され、現在の状況を説明させていただいた。

次の布施議員については、これまで5回に渡り開催されている石見神楽伝承内容検討専門委員会内での報告内容や協議事項について、大きく3項目についての意見があった。

いずれの意見に対しても、今後正式に提出される石見神楽伝承内容検討専門委員会からの提言書の内容を待って、それをもって検討していく旨を回答したところである。

次の川神議員からは、今後の教育課題として、「学校規模の適正化」「運動系部活動の在り方」「熱中症ガイドライン」の3点について質問があった。

学校規模の適正化については、急速な少子化に対応するべく、これまでのように現行の統合再編計画の期間終了に併せて次の計画を策定するのではなく、早急な対応が必要であること、今後の運動系部活動の活動意義については、高校進学のカリヤ形成という面だけでなく、人間形成に資する役割を担うものと考えていること、また、熱中症ガイドラインについては、今年度新たに策定しており、引き続き学校への周知徹底を図り、熱中症対策を行っていく旨の答弁をしたところである。

次の大谷議員からは、学校における働き方改革推進及び文化財保存活用計画について質問をいただいた。

学校における働き方改革の推進については、教職員の校外研修の状況や、主に中学校において超過勤務となっている実態、また、休暇をまとめて取得出来る仕組み作り等についての質問があり、これらの課題を解決し、教職員志望者が増える環境作りに勤しんで欲しいとの提案がなされたところである。

また、先日委員方にも案内させていただいたが、文化財保存活用地域計画（案）については、計画における石見神楽の位置づけ及び戦争遺産の取扱いについての質問があった。

最後に永見議員からは、学校における規制緩和後の新型コロナ

	ナ感染対策について質問があり、現在の学校での取組状況を説明したところである。 また、不登校児童生徒への対応については、現在の人数、原因、学校への復帰状況、山びこ学級や校内フリースクールの利用状況等の質問があった。 児童生徒が不登校となった理由は個々様々であり、過度な干渉や刺激がかえって不登校を長引かせることにもなりかねないため、学校や家庭以外の居場所を用意することや、本人と繋がりを持ちつつ、適切なタイミングでの復学への働きかけを行うという旨の答弁をしたところである。 以上、簡単ではあるが、9月議会一般質問の教育委員会関連の概要をご説明させていただいた。
岡田教育長	ただいまの報告について、ご質問があればお受けしたいと思うが、いかがか。
各委員	特になし。
藤井課長	行事等予定表（資料5） 資料5をご覧ください、行事等予定表である。10月からは小学校の学校訪問が始まり、5回予定している。委員方には時間をお取りするが、よろしくお願いします。 丸をつけている、上から3つ目の令和6年度島根県市町村教育委員会連合会の研修会のご案内だが、本日お手元に置かせていただいている。こちらは、以前、集合時間を9時半とさせていただいていたが、運転手の方から、もう少し時間が遅くても大丈夫だということで、9時50分に集合時間を変更させていただいているため、よろしくお願いします。 その下の中学校駅伝競走大会については、郵送にてお手元にご案内をさせていただいている。 真ん中あたりの浜田市総合スポーツ大会総合開会式については、後ほどスポーツ振興課長から説明をさせていただく。 丸の一番下、次回の第232回教育委員会定例会だが、以前は開催場所を浜田まちづくりセンターでご案内していたが、本庁4階の講堂ABが手配できたため、次回の定例会もこちら本庁4階の講堂ABで行わせていただく。 行事等予定は以上である。
岡田教育長	ただいまの行事等予定について、ご質問等あるか。

各委員

特になし。

鳥居室長

令和6年度全国学力・学習状況調査浜田市結果概要及び今後の対応（資料6）

資料6をご覧ください。先月の定例会で、総務文教委員会に出した概要はお示ししたため、今回は、各学校へ先生方の説明用、あるいは研修用ということで、配布させてもらったものをそのまま印刷している。各学校では、研修でやるときには、下側に入っている文字、いわゆる説明文言を見えないようにして誰かが語るか、個人でこれを見ながら行うかという様な研修をしていただくことになっている。前回の報告と重複するところがあるため、ポイントのみ示させていただければと思う。右下に番号が振ってあり、それを申し上げるため、そのページを開いていただきたい。

まずは4ページである。これについては、前回の報告のところでも示したが、この様な方向性を出しているということで、今から伸びていくところに、ここに至った根拠が出てくるというふうにご理解いただければと思う。それ以降については、今まで見ていただいた部分でずっと綴っている。

13ページを開いていただきたい。これは前回の資料には載っていなかったが、文部科学省が各教科について、全国的な状況はどうかということを報告文書として出していたため、それに併せ、浜田はどうかということで示している。各小学校については、一番上の書くことと、情報の扱い方に関する事項、これについては全国と同じであった。読むことについて、いわゆる物語文は、全国では成果が出ているということだが、浜田市は反対であり、ここに課題がある。この前も申し上げたが、国語が好きだという小学生が激減しているが、このあたりに問題があるということだと思う。

次は、16ページを開いていただきたい。中学校の国語についてである。ここを見ていただくと、前回の結果概要で、浜田市の子どもたちの課題ということで申し上げたことは理解していただけたと思う。話すこと、聞くことについても、つながりがわかる様にまとめることに課題がある。その下のところに、指定の条件で書くところがあるが、これができない。それから書くことについても、自分の考えが伝わる文章にする様に、これが課

題である。その下のところで、指定の条件で書く、これができない。読むことについては、要約することに課題がある。特に、文章と図を結び付けて内容を解釈したりすること、そういったところに課題がある。ということで、後ほど申し上げる要約学習の必要性がここでも出てくる。

進んでいただいて、19 ページである。今後の国語の指導のポイントということで、前回も触れているが、それを少し詳しくしたことを載せている。詳細な説明については、省略させていただきたい。

続いて 21 ページ、小学校の算数についてである。全国と浜田市は同じ傾向にはあるということ。これについては前回も示しているため、具体的な内容は省略させていただきたい。

24 ページ、今度は中学校の全国の状況と浜田市の状況である。これも前回示したため、省略させていただく。

27 ページ、算数・数学の今後の指導のポイント、これも前回示したため省略させていただく。

次、28 ページをご覧ください。これについては、文部科学省が、児童生徒の質問調査のクロス集計をして、どういう傾向が見取れるのかということについて示した。こういうクロス集計をきちっと出したのは、今年度からである。一番上のところを読むと、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」と、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」ということで、今回の学習指導要領に文部科学省が特に進めている部分だが、これについて、先ほどいったクロス集計でどんなことが見えてきたかということが中段に示してある。

1 番目に、主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考える児童生徒の各教科の正答率が高く、自分で学び方を考え工夫している。この傾向が見て取れる。2 番目、児童生徒の主体的・対話的で深い学びに関する回答と挑戦心・自己有用感・幸福感に関する回答の間には相関が見られる。うなずける様な気がする。3 番目、個別最適な学び・協働的な学びの両方に取り組んだと考えている児童生徒は、正答率が高い傾向が見られるとともに、「授業の内容はよくわかる」、「学校に行くのは楽しい」、「自分にはよいところがある」と回答している傾向がある。「学校に行くのは楽しい」、「自分にはよいところがある」これがどう関係するのか。個別最適な学びのところをよく見ていくと、

これについて、子どもたちがそうだと思うのは、もうほぼ当たり前の自然のところだろうと私も思っているところである。

次のページからは、文部科学省がこのクロス集計をした質問項目等々を出しているため、それに関して浜田市の状況はどうかということで、グラフに示すとともにコメントをつけたものを掲載しているが、これについて説明していくと随分長くなるため、省略させていただく。またお読みいただければと思う。

最後 42 ページをご覧ください。先ほど今後の方向性ということでお伝えしたが、それを実現していく上で特に大切にしたいことということで挙げている。

3 点あり、1 つは浜田市の強みである基礎的・基本的な知識・技能が身についているため、これを継続して充実してくださいということをポイントにさせていただきたいということ。2 つ目として、対話的で深い学びの取組に課題があることから、深い学びについての研修を実施してください。実施する上では、NITS の田村学教授の動画、20 分程度であるが、これが非常に参考になるため、これを使って研修してくださいということ。それから、授業のゴールにおける児童生徒の「深い学び」の姿を具体的に想定した授業づくり、実践、研究協議を行ってくださいということ。これが非常に先生方は弱い。この前も事前のところでは相談に行ったが、「深い学び」とは、この授業でいえば、子どもがどんなことを言ったり、書いたりするとそうなるかと聞くと答えられない。具体的な想定ができていない。だからそこへ向かった手だてを打てないということで、「深い学び」が実現しない。これは我々も本気でやっていきたいと思っている。それから 3 つ目、多くの情報から問題場면을把握したり、課題解決のために適切な情報を収集し、情報を結びつけて考え、表現（書く）ことに課題があることから、要約学習の取組を各学校において確実に実施してくださいということで、お伝えしている。特に要約学習については、校長先生、教頭先生方に、とにかく数をやることが大切であるためやってくださいというお話をさせていただいたところである。

資料 6 については、以上である。

学力向上推進室だより（資料 7）

資料 7 についてだが、先月の定例会の時に、杉野本委員から

個別最適な学習はどんな感じかというお話があったため、1 例としてお出しした。これが完全な個別最適な学びに向かった、あるいは複線型の授業というところではないが、そこを意識した授業になった。要は、子どもたちが自分で課題を選択したり、学び方を選択したり、自分で学ぶのか、人と一緒に学ぶのかというところを選択していくことが、個別最適な学び、複線型の学びだが、これは7月に、今回の ICT の指定校である石見小学校で校内研究を行うため見に来て欲しいと言われ、見に行った時の授業である。社会科の授業で、中段あたりに、調べる段階が（4 時間）と示してある。ここに 1 時間目から 7 時間目までがあるが、これが子どものそれぞれのパソコンに配信されており、その中の 3 時間目から 6 時間目までを、子どもが、自分は 3 時間目の分を先にやる。いや、自分は 6 時間目の方を先にやる。この順番を子どもが選択する様にしている。そのため、子どもによっては、3 時間目をやっている子どももいれば、7 時間目をやっている子どももいる。これがずっと入り乱れていて、ともかく 4 時間が終わったところで一斉にまとめて、成果はどうだったかということでみんなで学んでいくやり方だが、この学級は、5 月からこういった学習を始めたため、選択する幅が非常に狭くなっている。こういうところから選択の幅を広げて能力をつけていき、いずれは自分で課題を考えたりという様なところへ持っていく。というところで、少し参考になりイメージしていただきやすいと思い、お示しさせていただいた。

10 月の校長会では、個別最適な学びとはどういうことかということについてお示ししようと思うため、10 月の定例会ではもう少し詳しいことがお示しできると思う。

以上である。

岡田教育長

ただいまの報告について、質問があればお聞きしたいと思う。

杉野本委員

参考となる資料をありがとうございました。

松井課長

第 18 回 浜田市総合スポーツ大会について（資料 8）

資料 8 をご覧いただき、第 18 回浜田市総合スポーツ大会についてである。10 月 14 日の月曜日・祝日、午前 8 時 30 分から、島根県立体育館にて第 18 回浜田市総合スポーツ大会総合開会式を開催する。総合スポーツ大会として、各競技団体の大会予

岡田教育長
各委員

山本課長

定は、以下の表のとおりとなっている。実はもう7月にはユニカール、9月にはソフトテニスということで、すでに開催されたものもあるが、今後、年が明けて1月までのところで20競技を開催する予定となっている。参加人数は、全体で2,000人強ぐらいを想定している。こういった日程で大会を開催するため、報告させていただいた。

簡単だが、以上である。

総合スポーツ大会の日程については、よろしいか。

特になし。

第4回石見神楽伝承内容検討専門委員会の会議結果について
(資料9)

文化振興課からは、第4回石見神楽伝承内容検討専門委員会の会議結果について報告をさせていただく。石見神楽伝承内容検討専門委員会は、全6回を予定しており、第4回まで終了したところである。

第4回の専門検討委員会については、テーマ・議題として、石見神楽の情報発信に関する検討についてということで意見交換を行った。その中で、主な意見として挙げたのが、情報発信する内容については、浜田の石見神楽の歴史、そういったものを情報発信する必要がある。あとは、浜田が石見神楽を創り出したまちであるということ、文化としての石見神楽、解説付きの演目の映像、神楽関係者の想い、そういったものを情報発信する必要があるのではないかという意見があった。また、その情報発信の手法としては、従来のホームページやSNSの充実であったり、あとは体験や学習機会の創出ということで、子どもの時から切れ目なく神楽に触れる機会の創出が必要ではないかということであったり、あとは、石見神楽の特徴や歴史、六調子や八調子などの違いがわかりやすい図書の作成であったり、あとは、拠点施設として石見神楽に係る古い物の収蔵や展示をする場は必要であるということや、施設においては、石見神楽の研究者やガイドなどが必要。そういったもので、そこに行けば石見神楽のすべてがわかる場所にすべき、そういったものが必要であるという意見があった。

また、その他として、そもそもの神楽社中の方にも保存伝承の意識を持ってもらうことが大切であり、やはり石見神楽の魅

岡田教育長 各委員	力を伝え案内できる人（ガイド）が必要ではないか、そういった方々の情報発信が必要ではないか、というところで意見があった。 これらの意見を踏まえ、本日 18 時半から、第 5 回専門検討委員会を予定している。内容は、これまで検討してきた内容を取りまとめた提言書（案）について協議を行う予定としている。 以上、簡単だが、説明させていただいた。 ただいま説明があった、石見神楽伝承内容検討専門委員会の会議結果について、ご質問があればお伺いする。 これまで、グループワークを中心にしているいろいろな意見をいただき、今日はそれを取りまとめたかたちで提案書の案について、今度はスクール形式でいろいろと意見をもらうことになっているため、傍聴される方は一番見やすい会になるのではないかと思います。 よろしいか。 特になし。
-------------------------	---

4 その他

(1) その他

岡田教育長 日ノ原係長 岡田教育長 各委員	事務局からその他何かあるか。 特になし。 その他のところで、委員方からご報告や質問があればお願いします。 特になし。
---	--

次回定例会日程

定例会 10 月 28 日（月）14 時 30 分から 浜田市役所本庁 4 階講堂 AB

次々回定例会日程

定例会 11 月 20 日（水）14 時 30 分から 浜田市役所本庁 4 階講堂 AB

16：06 終了